

# 三心を磨く

学校だより NO. 15  
令和元年 8月28日(水)発行  
須坂市立東中学校  
文責：金井勝久(教頭)  
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## ◇2学期が始まりました！～東祭に向かってクラス・全校が1つに～◇

37日間という長い夏休みが終わり、生徒たちが学校に戻ってきました。夏休み中は、トイレ改修工事の音が響き渡っていた学校でしたが、今は生徒たちの声が校舎内外を支配しています。生徒たちの声の響きに幸せを感じながら2学期がスタートできたこと、夏休みも大事なく過ごせたこと、重ねてうれしく思います。

26日(水)の朝は、2学期始業式が行われました。学校長からは、まずは夏休み中に行われた広島平和学習やJRCトレセン、中国四平市親善訪問における東中生徒の活躍、吹奏楽部のコンクールの様子、3年連続全国大会に出場した丸山さんの快挙などが紹介されました。そして、各学年への願いが話され、1年生には「聞くこと」「聞き取ること」を課題とし、「鍛える心」を磨き、「聞く力」を高めることへの挑戦を託しました。

2学年には、部活動や生徒会活動が、3年生から引き継ぐことを意識し、応援団で培った自覚に加え、覚悟をもち、引き継ぐその日にむかって着実に歩んでほしいと願いました。そして3学年には、1ヶ月後の東祭に向かって全校をリードし、リーダーとして思う存分力を発揮してほしいと願い、そうすることで、その歩みがその後の進路選択や夢の実現の要となるということをお話されました。

また、全校には、「長い2学期を2つに分けると、前半が『動』であり、後半が『静』と位置づけることができ、前半ではこれまでに準備してきたことを仲間や地域へアウトプットし、後半は心を落ち着かせ、自分自身をみつめていこう」と話され、「一人ひとりを本当に大切に作る東中に…」「誰もが安心して過ごせる東中に…」と生徒たちに学校長の思いを投げかけ、実りある2学期の具現を生徒たちに期待されました。生徒たちは、真剣に学校長の話に聞き入り、うなずく姿がありました。こうした姿が、今の生徒たちの育ちです。

生徒たちは、残暑にも負けず元気です。そして東祭までの見通しをもち、準備を進めています。

9月から、東祭特別日課がスタートするわけですが、それを前に動き出している生徒たち、休み時間を使って大縄の練習をしたり、朝夕の学活では歌を練習したりと、もう完全に「学校モード」に切り替わっています。そして相変わらず清掃も素晴らしく、どの分担区でも時間いっぱい掃除ができています。

また、各委員会の動きも活発化しています。長い夏休みを有効に使いながら、細かな計画や準備、そして制作も進んでいます。残り1ヶ月で、生徒会を中心に「ぬかりない準備」を期待しています。

この夏休みは、大きな事故やケガも無く、とてもうれしく思っています。また、2学期に向かっての準備も、それぞれができたように思います。37日間の夏休みで、気力や体力が充電され、様々な出来事に全力で取り組める準備も整いました。2学期は「84日間」と、もっと登校日数が多い「長丁場」ですが、1学期同様全力で駆け抜けられるよう、生徒・職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。



## ◇◇ 新しい理科の先生として『速水 牧人』先生が着任しました！◇◇

8月23日(金)より、新しい理科の先生が着任しました。「速水 牧人(はやみ まきと)先生です。速水先生は、この春、琉球大学を卒業され、大学では「海洋生物の研究」をされていたとのこと。ご出身は埼玉県であり、長野県での生活はこれが初めてとのこと。「科学の楽しさや、生き物の素晴らしさを伝えられたら…」と話す理科大好き先生です。

2学年の副担任をしていただき、まずは理科のTTの授業から始め、東中学校に慣れたところで授業を担当していただきます。よろしくお願いたします。



## ◇◇ 女子卓球部 丸山溪さん、「3年連続全国大会」へ出場しました！！◇◇

夏休み中(8月8日)、新潟県小千谷市で「北信越大会」が行われ、卓球部の「丸山 溪さん(3の2)」が、県代表として個人戦に出場し、大活躍！！『東中旋風』を巻き起こしました。丸山さんは、県大会でのリベンジを見事に果たし、北信越で第3位となり、3年連続の全国大会への切符を手にしました。これまた快挙であり、大変うれしい結果となりました。

そして全国大会(8月22日)、猛暑の中、滋賀県で熱戦が繰り広げられました。丸山さんは中国・四国ブロック代表の高知県代表の生徒と対戦しました。試合は接戦、点の取り合いとなりましたが、惜しくも一歩及ばず、敗れました。「全国で勝つこと」をめざしていた丸山さんですので、無念さも残りましたが、県・北信越の代表として、堂々としたプレーを展開してくれたこと、3年連続全国大会へ出場したことは、大きな経験であり財産となりました。『小さな学校』から全国をめざした丸山さんに、大きな拍手を送りたいと思います。これで、郡大会から続いた3年生の部活動が一区切りとなります。大きな成果が出せた部活動を自信に、自分のめざす進路の実現への舵をきってほしいと願います。保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。



## ◇◇ 夏休みの様子から～補習や懇談会◇◇

夏休み、今年はトイレ改修工事やエアコン設置工事のため、校舎が思うように使えず、生徒や保護者の皆様にご迷惑をおかけしました。ですが、使える教室や地域の施設(仁礼コミュニティセンター・豊丘公民館)を利用し、今年度も「保護者懇談会」と「補習」を行うことができました。まず、「保護者懇談会」ですが、7月22日～25日までの4日間で行われました。保護者の皆さんには、暑い中、そして工事中の不便の中、ご来校いただきありがとうございました。

生徒たちの1学期の姿から見てきたこと、ご相談したいことやお聴きしたいこととお話したり、学校への要望や願いをお聴きしたりすることができました。ありがとうございました。お子さんの様子について共有できたことはもちろん、大切に長い(84日間)2学期に向け、準備もできました。これからの指導や活動に活かして参ります。



また、東中学校伝統の「夏季補習」も、前半は7月29日～31日、後半は8月21日～23日、計6日間行われました。今年度は校舎が使えないため、「仁礼コミュニティセンター」と「豊丘公民館」をお借りして前半の3日間を計画、自主参加でしたが、とても多くの生徒たちが参加しました。後半の3日間は、宿題で困っている生徒や質問したい生徒を中心に出席を募りましたが、これまた大盛況で2つの教室で行われました。

生徒たちは、「わからないところを聞きたい」「アドバイスがほしい」といった願いをもって挑めたり、夏休み中に仲間たちに会える喜びや楽しさを感じたりしながら、元気に爽やかに補習へ向かうことができました。

37日間の夏休みを経て「充実の秋」へ突入です。生徒・職員が一丸となって「挑む秋」にして参ります。